

福井県陶芸館 秋期企画展

ジャクエツ・コレクションの

現代陶芸

2022
10 / 15 (土) ▼ 1 / 9 (月)
2023



藤本能道
《色絵かわせみ文磁器八角筥》

珠玉の 名品たち

会場 = 福井県陶芸館1階「資料館展示室」

開館時間 = 9時～17時(最終入館は16時30分)

休館日 = 毎週月曜日

※ただし1/9(月)は開館、11/4(金)、11/24(木)、12/28(水)～1/4(水)は休館

入館料 = 一般 / 800円(陶芸館常設展、古窯博物館関連展示・常設展を含む)

高校生以下・70歳以上 / 300円、未就学児 / 無料
身体障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料

主催 = 福井県陶芸館

後援 = 越前町、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、
FM福井、月刊ウララ、丹南ケーブルテレビ、たんなんFM79.1MHz



福井県陶芸館

FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS

※新型コロナウイルスの影響により会期の変更が生ずる可能性があります。
変更が生じた場合は当館ホームページにてお知らせいたします。

木村盛和

《エメラルド釉窯変結晶茶盤》



ジャクエツ・コレクションの現代陶芸

福井県立美術館が所蔵するジャクエツ・コレクションの陶磁は、人聞国宝や日展の陶芸を代表する作家、また現代茶陶の名匠による作品で構成されます。本展ではこれらが優れた蒐集品であることを示すため、日本の現代陶芸の流れを追いつつ鑑賞できるように展示します。

さらに福井ゆかりの陶芸家・木村盛和最晩年の名作《エメラルド釉窯変結晶茶盤》をはじめ、新たにジャクエツ・コレクションに加えられる茶碗五点を初公開します。蒐集者の審美眼によって選り抜かれた、珠玉の名品の数々をお楽しみください。

ジャクエツ・コレクションとは？

ジャクエツ・コレクションは福井県敦賀市に拠点を置く株式会社ジャクエツの経営者、徳本道輝氏によって集められた絵画・彫刻・工芸品からなる、県内有数の美術コレクションです。横山大観など近現代の重要な作家による作品の多くは、社会還元の見点から県内の博物館、美術館、公共施設に寄贈されています。本展ではその中から、福井県立美術館に寄贈された現代陶芸のコレクションを紹介します。



楠部彌弐
《彩誕春日香炉》



十三代中里太郎右衛門
《叩き白象嵌翡翠魚文壺》

関連イベント

◆学芸員によるギャラリートーク

【日時】10/22(土)、11/12(土)、12/4(日)、12/18(日)、1/8(日) 各日11時～
【会場】福井県陶芸館1階「資料館展示室」
【内容】コレクション蒐集の経緯や現代陶芸の流れを踏まえつつ、展示の見どころをお伝えします。
【聴講料】無料(ただし本展観覧券が必要です。)事前予約不要、先着15名。

◆関連展示

「福井と現代陶芸 一塚原芥山・喜多村作太郎・竹中浩・田村民藤」展
【期間】10/15(土)～1/9(月) 【会場】越前古窯博物館 資料館2階「企画展示室」
【内容】当館所蔵品から、竹中浩氏をはじめ本展にもゆかりの深い福井出身の陶芸家たちの作品を展示します。【入場料】本展観覧券

◆さわれる展示

越前焼であそんでみよう〈ミニチュアレンガ積み体験〉
【期間】10/15(土)～1/9(月) 【会場】福井県陶芸館1階「体験コーナー」
【内容】本展の期間中、体験コーナーをリニューアル!越前の土でつくられた、ミニチュアレンガの試作品で遊ぶことができます。シンプルな形だけど、意外と難しいレンガ積み。手と頭をつかって、自分にしか作れないかたちに積み上げてみよう!
【協力】株式会社越前セラミカ、日向工房 【入場料】本展観覧券

○新型コロナウイルス感染状況によっては、内容変更または中止させていただく場合があります。予めご了承ください。



富本憲吉《赤地金彩寿字香炉》



北大路魯山人
《竹形入》



楠部彌弐《色絵白茶碗》



福井県陶芸館までのアクセス

【バス】

●JR武生駅より(所要時間30分)
福鉄バス(武生・越前海岸線)「かいらい骑行」「陶芸村口」下車
路線バスに関するお問い合わせ 福井鉄道株式会社 嶺北営業所(☎0778-21-0712)

【高速道路】

●武生IC(京都・名古屋方面)より(所要時間約30分)
●鯖江IC(金沢方面)より(所要時間約30分)
●敦賀IC(名神・舞若道)より305号線利用(所要時間約50分)
※駐車場は越前陶芸村総合駐車場をご利用ください。

ご予約・お問い合わせ

福井県陶芸館
FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS

〒916-0273
福井県丹生郡越前町小曾原120-61
TEL:0778-32-3262

福井県陶芸館
[越前陶芸村内]